科目ナンバリング	U-LAS40 20044 SJ26						
授業科目名<英訳>	アダプテッド・スポーツ演習 Seminar on Adapted Sports			担当者所属職名・氏名	人間・環境学研究科 准教授　江川　達郎		
群	健康・スポーツ科目群	分野(分類)	健康・スポーツ科学(発展)	使用言語	日本語		
旧群		単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	月2	配当学年	全回生	対象学生	全学向

（総合人間学部の学生は，全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）

[授業の概要・目的]

アダプテッド・スポーツとは、ルールや用具を改良することにより、障害の有無や身体活動能力、年齢にかかわらすスポーツ活動を楽しむことができるように工夫・適合（adapt）されたスポーツのことである。本演習では、障害者スポーツの理論的背景と共に、具体的な指導技術や競技の体験を通じて、多様な背景を持つ人々が参加できるインクルーシブなスポーツ環境を創出するために必要な知識とスキルを習得する。

[到達目標]

・アダプテッド・スポーツを通じて多様性を理解する。
・新たなスポーツ種目を生み出すことができる。
・障害者スポーツの意義・楽しみを理解する。

[授業計画と内容]

第1回：オリエンテーション
第2回：アダプテッド・スポーツ概論（講義）
第3回：肢体不自由とスポーツ①（講義・演習）
第4回：肢体不自由とスポーツ②（実習）
第5回：視覚障害とスポーツ①（講義・演習）
第6回：視覚障害とスポーツ②（実習）
第7回：聴覚障害とスポーツ①（講義・演習）
第8回：聴覚障害とスポーツ②（実習）
第9回：発達障害とスポーツ①（講義・演習）
第10回：発達障害とスポーツ②（実習）
第11回：精神障害とスポーツ①（講義・演習）
第12回：精神障害とスポーツ②（実習）
第13回：高齢者とスポーツ①（講義・演習）
第14回：高齢者とスポーツ②（実習）
第15回：フィードバック
各テーマの第1回目の授業では、講義で障害に対する理解を深めるとともに、各障害に適したスポーツを参加者で議論して新しいスポーツを考案する。
各テーマの第2回目の授業では、1回目の授業で考案したスポーツや従来の障害者スポーツを学内施設（体育館・グラウンド・教室等）で体験実習する。
上記の通常授業に加えて、自由参加で希望者のみ、土曜日または日曜日に3回程度、京都市障害者スポーツセンター（京都市左京区）等での学外実習の機会を設ける（成績評価には含まない）。

アダプテッド・スポーツ演習(2)へ続く↓↓↓

アダプテッド・スポーツ演習(2)

[履修要件]

将来的に障害との関わりが深い医療・福祉、教育、スポーツ、メディア分野の職に携わる可能性がある者やスポーツボランティア、障害者支援ボランティアに興味のある者の履修を歓迎します。
スポーツ経験の有無や体力レベルは問いません。

[成績評価の方法・観点]

出席とディスカッションへの参加状況：70点
期末レポート：30点
成績評価の詳細は第1回目の授業で説明する。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
植木章三　他『イラスト　アダプテッド・スポーツ概論』（東京教学社）ISBN:9784808260507
齊藤まゆみ『教養としてのアダプテッド体育・スポーツ学』（大修館書店）ISBN:9784469268461

[授業外学修（予習・復習）等]

毎回の授業において、授業内容をより深く理解するための授業外学習に有用なウェブサイトや書籍、資料を提示する。授業外学習の成果は期末レポートとして評価する。

[その他（オフィスアワー等）]

本授業では実習を含むため、原則として「学生教育研究災害傷害保険」（学研災）および「学研災付帯賠償責任保険」（付帯賠責）に加入して授業に参加してください。

[主要授業科目（学部・学科名）]